

おお大勝利

平成 30 年度山東サッカー一部報第 3 号 (4 月 25 日)

サッカー部保護者の皆様、OB・OGの皆様、日頃より本校サッカー部の活動にご理解とご協力を賜りまして、感謝申し上げます。

Y2A第2節 大勝で2連勝！

4月21日(土) Y2A 第2節の山本学園戦が、白鷹町の東陽の里 G にて行われました。**山本学園といえば、今年の地区新人で当たり、確か 0 対 2 のスコアで敗れている相手。**しかも、内容も完敗で、この代にての(ということは今年の)県総体出場が非常に危ういものであることを予感させる試合だった。結局その後、県新人に出場できず、久しぶりに(11年ぶりに)暇な11月を送ることとなった¹。そして、冬場、「県総体に出場できないかもしれない」という危機感を部員で共有しつつ、トレーニングに励むきっかけになった敗戦でもありました。

ということで、本節の相手山本学園は、山東にとって昨年を象徴する敗戦を喫した相手であり、今年を占う相手でもあった。もちろん**山東はリベンジに燃えている**。さて、山本学園戦どうなるか。

当日は、暑くて長袖不要。**清野後援会名誉会長**、その同期の**工藤先輩**、そして我らが**後藤報道局長**という「いつものお三方」がいつも通りおいでになる。山形県サッカー協会の専務理事にして、サッカー部後援会の現会長である**岸会長**もいらっしやった。人工芝、無風。今年の東陽への「足」は、山東にて初めて、保護者による送迎とした効果もあったでしょう、多数の保護者が応援にいらっしやっている。**1年生もここ数年で最も多い入部となり、アップにおけるピッチ内は賑やか**。あとは選手が頑張るだけ。

試合が始まると、それもいつもの光景ですが、押し込まれる。**なかなか直らない緩い入り**。しかし、早々にCKを獲得すると、**2年左SB / 7**の蹴ったボールを**1年CB ヤグチ**が何とか頭に当てる。すると力なくバウンドしたボールが、GKの邪魔をしようとゴールラインぎりぎりまでつめていた**2年FW オサ**に向かう。オサ、咄嗟に身をかわすと、そのままボールがゴールに吸い込まれた。「オフサイドじゃないのか・・・」とは思ったものの、ゴールが認められる。オサは試合後、「オフサイドではなかったと思いますが、ファールだったかもしれない」とは言っていました、ゴールエリア内のGKのプレーを守る「キーパーチャージ」という反則はもうないので、GKに体を預けていただけのオサのプレーはノーファール。オフサイドでなかったとしたら、立派なゴールでしょう。ということで、**早々に先制に成功**。そして、**1年ヤグチ、前節に続く立て続けの得点！素晴らしい！！** さすが

¹ その11年前のチームは、地区新人にて攻めに攻めたものの得点を奪えず、結局PKで敗れ、県新人行きを逃した。が、力のある代であり、翌年の県総体では3位となり、東北選手権も出場した。今年の地区新人での敗戦は、この11年前の敗戦とはまったく異なり、実力的に足りず県新人行きを逃した、というものであり、危機感を高める敗戦でした。

鈴○監督が率い、以前はムンタリ（とサッチモ）を排出した**アスキーFC 出身**だけある²。

得点はしたものの、試合内容は一向に改善せず。短い距離のインサイドでの簡単なパスが合わないでロストしカウンターを受けたり、低い位置でのパスミスで危機に陥ったり、球際で奪いきれず押し込まれたり、（外ではなく）中にされた短いクリアにより厚みのある攻撃を受けたり、パツとしない流れ。しかし、**下手なだけに相手を自陣に呼び込むと、カウンターが効いてくる**。二人のFWや**3年左SH ヤマモト**による速攻がたびたび決まる。速攻からヤマモト2点目ゲット。この得点は、ヤマモトがドリブルでGKまで交わしてゲットしたもので、ドリブル大好きな後藤報道局長を特に喜ばせた。その後も得点チャンス多数あったものの、決めきれず、「後半入るに2点リードと3点リードではだいぶ違うのだけどな〜」とイライラしていると、**3年GK ホタテ**の「南米キック」³を起点にしたカウンターからFWが決め、やっと3対0。

しかし、ハーフタイムでは、それでも足りず、早めに4点目を入れなさい、と指示。だって、3年生を全員出すにはセーフティリードがあった方がいいが、3対0はプロの世界でも3対3まで行ってしまうことのあるスコア。ということで、**出られないで悔しい思いをしている3年生のためにも必死になって4点目を奪いに行くよう指示**。後半から左SHにて**3年キムタク in**。

後半も緩い入りは継続。ピリッとしめない立ち上がり。やはり簡単なことが簡単に出来ない。だから個々の選手の、またはチームとしての落ち着きも生まれない。後半から途中出場のキムタクも、名前がちゃんと分からない1年生主体の応援によりキムラタクヤと間違っ
て応援され調子が狂ったか、FWのパスを受け抜け出しても苦し紛れの右足インサイドシュートでチャンスをふいにする。後半20分過ぎまでスコアレスが続く。しかし、後半の均衡を**3年ボランチキクチャン**がようやく破ると、**右SB カサコー**ことカサハラ、**右SH ミヤガワ**ことカズマサ、そして**FW バビー／バサシ**ことババを連続して投入。3年生全員がピッチに立つ⁴。その後も、山東の勢いは衰えず・・・と言っておきましょうか、ともかく、その後3点を加点し、1失点するものの、**結局1対1で大勝**。6点目は、ババが絶好機を得て、「これは決めるだろう」と思わせて、案の定へボシュートで逸機・・・と思ったらまだボールは生きていて、無人のゴールに流し込む、といったもの。**ババさんの秘技「一人時間差シュート」炸裂**と表現しておきましょう。なかなか見られないババのゴールに、ベンチも応援席も沸きました！

ということで、大勝にてリベンジに成功。冬場のトレーニングの成果が出た・・・ということにしておきましょう。送迎、応援ありがとうございました。

次節も応援よろしくをお願いします。

4月30日（月） Y2A 第3節 VS 羽黒B 13:00～ @山形市球技場

当初の予定では第3節 4/30 は東陽会場での試合でしたが、山形市球技場に変更となりました！

² 今年の1年生はアスキーから3人入部しました。「アスキーでは、サッカーだけじゃなく勉強も教えてますから。」と常々うそぶいてくれている鈴○監督、ありがとう！

³ 正式に何と呼ぶか分かりませんが、私たちは高校生のとき、そう呼んでいました。GKがボレーシュートのように足を横から出して、ボールに逆回転を与え、ライナー性ながら失速しにくいボールを蹴る際のもの。

⁴ 実は3年生にはもう一人、**GK カイチ**がいるのですが、**カイチは2代前のフミキさんの後を継ぎ、サッカー部と応援団長を兼務**。この日は、野球の東南定期戦により、カイチはそちらで戦っていた。